



サステナビリティ担当役員メッセージ

Well-Being Lifeの実現に向けた
マテリアリティの拡充

J.フロント リテイリング株式会社 執行役常務 経営戦略統括部長 兼 リスク管理担当

平野 秀一

JFRグループでは、サステナビリティ経営の推進、「Well-Being Life（心身ともに豊かなくらし）」の実現に向けて、マテリアリティの見直しを行いました。

2つのマテリアリティを追加

資源枯渇や食品・衣類の廃棄といった世界的な社会課題解決に向け、近年、欧州を中心にサプライチェーン全体での循環型経済への取り組みとして、新たなビジネスモデル創出に向けた動きが加速しています。消費者においても、エシカル消費や、フェアトレード、トレーサビリティ、

リサイクルへの関心が高まるなど、環境への意識が大きく変化してきています。また、今般のコロナ禍を契機に、感染予防を念頭においた安全、安心をはじめ、ウェルネス、ヘルスケアなどへのニーズが高まり、新しい価値観、生活様式が定着しはじめています。

こうした状況を捉え、経営会議および取締役会で議論を重ねた結果、これまでに特定した当社の5つのマテリアリティ（重要課題）に、新たに「サーキュラー・エコノミーの推進」「お客様の健康・安全・安心なくらしの実現」の2つを加えることとしました。

「サーキュラー・エコノミーの推進」

サーキュラー・エコノミーは、天然資源や製品を効率的に、かつ循環的に使用し、廃棄物の発生を最小限にし、ビジネス化する経済システムです。当社グループは、これまで、サーキュラー・エコノミーの一部を形成する3R活動に取り組んできました。

その一方で、当社グループは、3R活動をより進化させ、サーキュラー・エコノミーを実現させるためには、環境負荷の低減と同時に、新たなビジネス機会を獲得していくことが重要であると考えています。

2021年3月、大丸松坂屋百貨店では、ファッションサブスクリプション事業「AnotherADdress（アナザーアドレス）」を立ち上げました。「AnotherADdress」は、ファッションの本質的な価値や、サステナブルな取り組みを重視し、社会や環境にとって持続性の高いビジネスモデルへと進化することを目指すサービスとしてスタートしました。

「お客様の健康・安全・安心なくらしの実現」

環境や社会課題の解決につながる商品を選択されるなど、お客様のエシカル消費に対する意識は高まっています。これを受け、お客様が快適なくらしを送れるだけでなく、購入することで環境や社会に貢献できるようエシカル商品の取り扱いの拡大に取り組んでいきます。また、コロナ禍で健康や内面の充実への意識が高まっていることから、健康の視点からより良く生きるためのウェルネス領域に関する新たなライフスタイルの提案、価値提供にも取り組んでいきます。これらの取り組みにより、お客様一人ひとりのWell-Being Lifeの実現に寄り添っていきたくと考えています。

安全・安心に向けた取り組みについては、大丸松坂屋百貨店やパルコの店舗、各事業会社では、地震や火災発生時に備え、防災訓練やBCP訓練を定期的に実施しています。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、3密空間とならない環境づくりや、館内空調強化等を実施しています。今後も、防災・防疫に強い店舗環境をつくり、お客様に安心してご来店いただけるよう、安全・安心への取り組みを行っていきます。



マテリアリティの取り組みの高度化

既存のマテリアリティにおいても一部見直しを行いました。具体的には、「低炭素社会への貢献」については、国内外における脱炭素への意識の一層の高まりを受け、「脱炭素社会の実現」と改め、JFRグループの最重要課題として取り組み内容を強化することとしました。

また、「ダイバーシティの推進」については、「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」、さらに「ワーク・ライフ・

バランスの実現」は「ワーク・ライフ・インテグレーションの実現」にそれぞれ更新し、社会変化を踏まえた取り組みへの高度化をはかっていきます。

今後は、これら7つのマテリアリティについて、リスクと機会の両面を捉え、それぞれのマテリアリティでビジネスチャンスを生み出し、社会的価値と経済的価値の両立を実現することを目指していきます。